



2014.6.10
第154号

発行
福島県市町村
教育委員会
連絡協議会
北会津支
耶麻沼支
両沼支会

編集
福島県教育庁
会津教育事務所

編集協力
小・中学校長会

「たくましい人づくり」を目指して



会津教育事務所

所長 丹藤

茂

東日本大震災、そして原発の事故を受けて大幅に改訂された福島県第六次総合教育計画も、実施二年目を迎えました。数多くの事業が展開されており、その目指すべきところは、基本理念にも示されており、ように、「こころ豊かなたくましい人づくり」です。

ここに示す「この教え」に象徴されるように、人づくりにあはれ歴史と伝統のある土地です。「八重の桜」でも描かれておりましたが、戊辰戦争の敗北

でがんばりきれない場合が多く、「社会貢献意識」が強ければ強いほど、進学に向け最後まで諦めることなく努力するというのです。さらに、そうした意識は部活動や生徒会活動に熱心な者ほど強いということも分かっています。

考えてみると、進学の場面のみならず、こうした「世のため、人のため」という思いは、様々な場面で私たちに力を与えるものです。明治の先人たちの心の中にも、そうした思いが強くあつたに違いありません。そうした気持ち、様々な体験活動を通して、現在の子どもの心の中にも育んでいくことが私たちに求められています。会津の子どもたちを「あいづね」のよさにたくましい人間に育てるよう、これからも学校・家庭・地域が一体となって力を尽くしてまいります。

平成二十六年度 管理関係 重点事項

一 教育委員会・学校との連携を一層重視した人事管理の適正化

◎ 学校組織の充実・活性化による各校の教育活動の充実

二 学校事故・不祥事等の未然防止

◎ 教職員一人一人の危機管理意識と実践力の高まりによる厳正な服務・勤務体制の確立

◎ 震災後の復興、特色ある学校づくりにつながる教職員組織の充実や強化を図る人事管理及び人事事務の適正化

◎ 各校の取組への支援

◎ 学力向上等で確実な成果を上げる少人数教育を推進するための人事配置を生かした取組への支援
◎ 教職員の意欲や資質、指導力の一層の向上をめざした勤務の適正化と教職員目標管理制度の効果的な実施への支援
◎ 各校の学校経営等を支援する所長（管理）訪問や各種会議の実施

・ 職務倫理委員会の持ち方や通知の活用などの具体策の工夫
・ 全員参加による防火診断の確実な実施と改善
・ 日常の学校施設・設備等の安全管理の徹底
※ 学校事故や不祥事による学校の教育活動へのダメージは計り知れません。今年度の目標は不祥事の根絶です。
※ 万が一発生した場合は、素早く適切な対応を行って下さい。

社会教育関係重点事項



ふくしまからはじめよう。

Future From Fukushima.

～学校、家庭、地域が一体となった教育の実現～

【施策1】子どもたちの豊かな心をはぐくみます

- (1) 『ふくしまっ子自然体験・交流活動支援事業』
- ① 小・中学校自然体験・交流活動等支援事業
 - ② 幼稚園・保育所自然体験活動等支援事業
 - ③ 社会教育団体自然体験活動支援事業
市町村や社会教育団体が長期宿泊(6～13泊まで)を伴う子どもの自然体験活動又は交流活動を行う場合。ただし、県外で活動する場合は自然体験活動を行う。(対象期間：7～8月、12～1月でどちらか1回)
 - ④ ふくしまっ子体験活動応援補助事業
市町村や社会教育団体等が県内において、日帰り又は短期宿泊(1～5泊まで)を伴う子どもの自然体験稼働、スポーツ活動、交流活動を中心に実施する場合。(対象期間：7～8月、12～1月で各1回)
 - ⑤ ふくしまっ子自然の家体験活動応援事業
県内の幼児、小・中学生とその家族を対象に、郡山自然の家や会津自然の家、いわき海浜自然の家を会場として日帰りの自然体験活動等を行う機会を提供する。(実施時期：夏季各会場1回、冬季各会場1回)

【施策9】地域全体で子どもたちを教える取組を支援します

- (1) 『学びを通じた被災地のコミュニティ再生支援事業』
- ① 放課後支援事業(会津若松市、喜多方市、西会津町、会津坂下町、湯川村、柳津町、会津美里町、三島町、金山町)
 - ② 学校支援事業(北塩原村、西会津町、三島町)
 - ③ 地域支援推進事業(会津若松市、猪苗代町、喜多方市、

西会津町、会津坂下町、三島町、金山町、昭和村)

【施策10】家庭における教育を支援します

- (1) 『地域でつながる家庭教育応援事業』
- ① 「家庭教育応援プロジェクト」
ア 地域家庭教育推進会津地区ブロック会議(6月・1月)
地域の現状を把握し、課題を整理した上で郡市PTA連合会との連携により各家庭における実践へつなげる。
イ 親子の学び応援講座
モデルPTAを設置し、親の学び・家庭での実践活動を支援する。
ウ 家庭教育応援企業推進活動
家庭教育の推進に取り組む企業を募集し、企業と連携し、地域の家庭教育を推進する。
 - ② 「家庭教育応援リーダー育成事業」
ア 家庭教育支援者スキルアップセミナー(6～10月)
地域の家庭教育支援者の実践力を高めるとともに、地域の家庭教育支援者をリードする人材を育成する。

(2) 『十七字のふれあい事業』

- ① 内容
子どもと大人あるいは子ども同士のペアで、家庭生活や自然・社会体験活動などの共通体験を通して、お互いが感じた思いや願い、絆に関するエピソードなどをそれぞれ作品にする。(応募期間：7～9月)

指導の重点

本年度は、県教育委員会の重点施策を受け、会津域内の実態も考慮して、次の5項目を重点事項とし、各学校を支援します。

- 1 子どもたちの豊かな心の育成
 - 指導体制の充実及び道徳における多様な指導方法の工夫
 - ・学校訪問における授業参観等での具体的な指導
 - ・HPによる多様な指導のポイントや実践例の紹介
 - 不登校防止に向けた組織的な取組等の推進
 - ・小中連携を図りながら児童生徒の自己有用感を高める取組への支援
- 2 子どもたちの生き抜く力を支える「確かな学力」の育成
 - 学力向上グランドデザイン的设计・実施・評価
 - ・自校の実態に応じた共通実践事項の確実な実践に関する指導・助言
 - ・評価計画を明確にしたPDCAサイクルの確立状況の確認
 - 「わかる・できる授業」の実践
 - ・各教科の『今、目指したい授業』に基づいた実践の指導
 - ・HPを活用した実践事例等の積極的紹介
 - 確かな学力の向上を支える基礎づくりとしての学習習慣・生活習慣の確立
 - ・授業と家庭学習のサイクルの確立状況の確認
- 3 子どもたちの健やかな体の育成
 - 域内体力・運動能力等検討委員会の『提言』に基づく授業や体育的活動の充実
 - ・学校訪問及び各種研修会等での「体力向上推進計画」

- や『提言』の実施校状況確認並びに助言
- 校内食育推進体制の整備と「食育年間指導計画」に基づく食育の推進
 - ・食育コーディネーターを中核とした校内体制の整備と「食育年間指導計画」の確実な実施についての指導・助言
- 学校保健委員会等の組織を活用した健康教育の推進
 - ・各種会議、研修会などを通じての学校(地域)保健委員会の組織化、確実な開催の働きかけ
- 4 「地域で共に学び、共に生きる教育」の推進
 - 地域におけるインクルーシブ教育システムの構築
 - ・巡回相談等を活用した「個別の教育支援計画」の作成の支援
 - 幼稚園、小・中学校、高等学校それぞれの特別支援教育の充実
 - ・ケース会議の進め方や発達障がいなどに関する校内研修への支援
- 5 安全で安心できる学習環境の整備
 - 児童生徒の安全確保
 - ・学校訪問等での地域や関係機関と協力した「危険等発生時対処要領」作成の確認と、確実な実施に向けた指導・助言

※ 「確かな学力」の育成に向けた指導資料として、HPの学力向上支援コーナー「教科の部屋」及び各学校に配付した『実践事例集 ー今、目指したい授業ー』を活用してください。

※ 放射線教育については、HPの「放射線教育の部屋」に情報を掲載するとともに、今年度も、会津教育事務所主催の自主研修会を実施する予定です。



ことばの重み

西会津町教育委員会教育長
新井田 大

10年以上前のことである。「共生」・「バリアフリー」ということばの意味がしっかりとこない時期があった。そのような時に、当時金沢大学助教授（現在東京大学先端科学技術研究センター教授）の福島智氏の文章を岩波講座「現代の教育」の中に見出した。そこには、盲聾者として日本で初めて大学に入学した氏が、華やかな大学の雰囲気とは裏腹に、不安で寂しい日々を送っていたときの出来事が綴ってあった。

ある日、クラスの女子学生が吉野弘の詩を点訳し、氏に紹介してくれた。そこに、「生命（いのち）はその中に欠如を抱き それを他者から満たしてもらおうのだ」との一節があった。氏はこのフレーズに出会った時に受けた衝撃を今でも忘れないと記している。これは「命のありようの本質を示した言葉だ。命の定義そのものである」と書き

綴っている。私はこのとき、「共生」ということばの持つ意味が、求めていた以上の明確さを持って腑に落ちてきた。氏はこのワンフレーズに出会い人生の方向性が定まったと記述している。しかし、氏の人生の方向性を真の意味で決定的にしたのは、吉野弘のこの詩を選び点訳し、寂しそうな氏に手渡したクラスメートの「欠如を満たす」さりげない行為だったかもしれない。

神戸港の船影を眺め、音楽を聴き多感な少年時代を過ごしていた若者が9歳で失明し18歳で聴力を失った。美を感じることができない2つの感覚「光」と「音」を失った時の絶望感は想像することさえ難しい。氏は現在、物理的・心理的・思想的・社会的等の多様なバリアの研究をバリア撤廃のために進めている。「命の定義」を踏まえながら。

我がまちからの情報発信

はにつ じんじゃ しずめいし
土津神社 鎮石

磐梯山南麓に鎮座する、会津藩祖保科正之公を祀る土津神社おくつみ奥津城の鎮石しずめいし（お墓の中心、保科公が眠っておられる場所）が、大震災の影響を受けズレが生じた。約2千万円の予算で解体修理が行われ、3月末無事竣工した。

それぞれ15トンもある傘石、竿石の破損部分を修復して、台石に据直すえなおしを行うという工事で、鉄骨の足場を組んでの大掛かりなものであった。重機もない時代、どうやって山の上にこれだけのものを建造したのか、驚くばかりである。こういう歴史的建造物がわが町に存在することを誇りとした。

文化財や史跡関係の専門家による「国指定松平家墓所整備委員会」のご指導に従って進められた。京都や奈良では、文化財の解体修理の際、図面、設計図などが残っていて参考にできるが、鎮石については今のところ、見当たらない。恐らく、土津神社も猪苗代城同様戊辰の戦火に遭い消失したので、その際多くのもが失われたものと思われる。

猪苗代町教育委員会では、小中学生の郷土学習のための副読本、多くの方々の協力による保科正之や猪苗代兼載（室町時代の歌人）、野口英世に

猪苗代町教育委員会

関する様々な資料の作成などを行っている。この度、猪苗代城址の南端、元の公民館跡地に新たに「猪苗代町図書歴史情報館＝愛称和なごみいな」を開館した。今後は、この新施設を拠点として、こどもたちの読書指導、とりわけ郷土の歴史学習に資するための活動を行ってきたい。



鎮石工事



鎮石全景

《 基本理念 : “ふくしまの和”で奏でる、こころ豊かなたくましい人づくり 》

■ 知・徳・体のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の育成

【子どもたちの豊かな心の育成—1】

- ◎ 指導体制の充実及び道徳における多様な指導方法の工夫
(方策) 学校訪問における授業参観等での具体的な指導
(目標) H P による多様な指導のポイントや実践例の紹介
(方策) 道徳教育全体計画別葉等を活用した共通実践 小中とも2.3以上
- ◎ 不登校防止に向けた組織的な取組等の推進
(方策) 小中連携を図りながら児童生徒の自己有用感を高める取組への支援
(目標) 学年間及び学期間の「つなぎ」を意識した指導に取り組んで不登校ゼロを目指す学校100%
(方策) 不登校児童生徒 前年度比100%減

【地域で共に学び、共に生きる教育】の推進】

- ◎ 地域におけるインクルーシブ教育システムの構築
(方策) 巡回相談等を活用した「個別の教育支援計画」の作成の支援
(目標) 指導の一貫性・系統性のある支援体制の実現（「個別の教育支援計画」作成率100%）
- ◎ 幼稚園、小・中学校、高等学校それぞれの特例支援教育の充実
(方策) ケース会議の進め方や発達障がいなどに関する校内研修への支援
(目標) 教職員の専門性・指導力の一層の向上
(方策) 「校内研修」実施率100%

【子どもたちの生き抜く力を支える「確かな学力」の育成】

- ◎ 学力向上プログラム「デザイン」の設計・実施・評価
(方策) 自校の実態に応じた共通実践事項の確実な実践に関する指導・助言
(目標) 評価計画を明確にしたPDCAサイクルの確立状況の把握
- ◎ 「わかる、できる、目指したい授業」に基づいた実践の推進
(方策) 共通実践事項の実施 小中とも2.5以上
(目標) クラウド学習の実施・評価・改善 小中とも2.5以上
- ◎ 「わかる、できる、目指したい授業」に基づいた実践の推進
(方策) H P を活用した実践事例等の積極的紹介
(目標) 「今、目指したい授業」やH P 「教科の部屋」などを活用して授業改善 小中とも2.5以上
- ◎ 確かな学力の向上を支える基礎づくりとしての学習習慣・生活習慣の確立
(方策) 授業と家庭学習のつながりを明確にした実践 小中とも2.5以上

【望ましい勤労観・職業観の育成】

- ◎ 教育活動全体を通じたキャリア教育の推進
(方策) 学校訪問におけるキャリア教育推進に関する具体的な指導
(目標) キャリア教育推進事業に係る広報活動の充実

【子どもたちの健やかな体の育成】

- ◎ 域内体力・運動能力等検討委員会の『提言』に基づく授業や体育的活動の充実
(方策) 学校訪問及び各種研修会等での「体力向上推進計画」や「提言」の実施状況確認並びに助言
(目標) 「体力向上推進計画」や「提言」の実践率100%
- ◎ 校内食育推進体制の整備と「食育年間指導計画」に基づく食育の推進
(方策) 食育コーディネーターを中核にした校内体制の整備と「食育年間指導計画」の確実な実施についての指導・助言
(目標) 「食育年間指導計画」に基づく授業の実施率100%
- ◎ 学校保健委員会等の組織を活用した健康教育の推進
(方策) 各種会議、研修会などを通じて健康教育の推進
(目標) 学校の組織化、確実な開催の働きかけ
(方策) 学校保健委員会の複数回開催率100%

【高週情報化社会を主体的に生きていく力の育成】

- ◎ 情報活用能力の育成
(方策) 校内研修会等への支援の一層の充実

【国際化の進展に対応できる人材の育成】

- ◎ 外国語によるコミュニケーション能力（の素地）の育成
(方策) 学習到達目標達成を視点にした授業参観及び指導助言
(目標) H P の内容充実

＜基本目標＞ 域内の実情を踏まえた県教育委員会施策の推進及び各市町村・各学校の教育活動充実のための実効性のある支援
 ＜方 針＞ ① 視野を広く、見通しを確かに、志を高く持つて域内の教育を考える。 ② 成果に結びつく意図的・計画的・組織的・継続的な支援を行う。 ③ 域内の教育関係者・関係機関との連携を強化・促進する。

■ 学校、家庭、地域が一体となった教育の実現

【子どもたちの豊かな心の育成—2】

- ◎ 自然体験・交流活動の支援
(方策) 自然体験活動や交流活動などを行う機会の提供
(目標) 読書活動の推進
- ◎ 読書活動の推進
(方策) 子ども読書活動を支援するボランティアの養成

【生涯学習の環境整備】

- ◎ 文化による心の復興支援
(方策) 文化による癒やしを活かした復興に向けた活力の醸成

■ 豊かな教育環境の形成

【教員の資質の向上】

- ◎ 教員研修等の充実
(方策) 体験的な研修や少人数グループによる研究協議の充実
- ◎ 教職員の服務倫理の確立
(方策) 所長・管理訪問時における各校の実践への指導・助言、効果的な取組の紹介
- ◎ 学校事故、教職員事故及び不祥事絶無
(目標)

【地域における教育への支援】

- ◎ 学校・家庭・地域連携への支援
(方策) 地域全体で教育活動を支援するためのコーディネーターやボランティアの育成
- ◎ 学びを通じて被災地の地域コミュニティ再生への支援
(方策) 地域の課題について指導助言することでの事業充実

- ◎ 地域における防災力向上への支援
(方策) 社会教育関係者等を支援するプログラムの実施

【安全で安心できる学習環境の整備】

- ◎ 児童生徒の安全確保
(方策) 学校訪問等での地域や関係機関と協力した「危険等発生時対処要領」作成の確認と、確実な実施に向けた指導・助言
(目標) 「危険等発生時対処要領」に基づく通学路の安全確保 実施校及び防災教育実施校100%

【家庭における教育の推進】

- ◎ 地域でつながる家庭教育の応援
(方策) 家庭教育について保護者が学ぶ機会充実のための支援
- ◎ 「十七字のおれあい」事業の推進
(方策) 家庭や地域で人と人との絆を強めることでの教育力向上

【環境教育の推進】

- ◎ 低炭素・循環型社会に対応した環境教育の推進
(方策) 各学校の取組（「福島認定書」等）の積極的な紹介

【透明性が高い、開かれた教育の推進】

- ◎ 学校経営能力の向上
(方策) 校長会議・教頭会議などにおけるより実践的な指導

【教員が子どもと向き合える環境の整備】

- ◎ 教員の勤務の適正化と負担軽減の推進
(方策) 教職員の心身の健康保持
- ◎ 超過勤務削減に向けた実践例の継続的な紹介
(方策)

各市町村教育委員会の施策

各学校の経営・運営ビジョン